

出前講座 「洪水・土砂災害とその対応」

- 開催日時：平成27年3月2日（月）14時00分から16時00分
- 開催場所：エスポワールいわて
- 参加者：岩手県消防協会盛岡紫波地区支部評議員（消防団幹部） 30名
- 講師：岩手河川国道事務所 調査第一課長 山影修司

国土交通省岩手河川国道事務所では、随時出前講座を開催しております。

平成27年3月2日（月）、盛岡紫波地区の消防団幹部30名が出前講座に参加され、盛岡市にある「エスポワールいわて」において開催しました。

この出前講座は、盛岡市危機管理防災課消防対策室が主催で行っている「岩手県消防協会盛岡紫波地区支部評議員等研修会」の一環として開催され、当事務所調査第一課の山影課長が「洪水・土砂災害とその対応」と題して講演しました。

まず最初に河川の洪水について、盛岡市内を襲った過去の洪水や平成25年8月と9月に盛岡地域を襲った洪水の概要を説明し、平成24年九州北部豪雨で破堤した矢部川の状況を解説しながら、当時の水位がどう変化し、どのように決壊したか説明しました。併せて、河川の水位と洪水予測等を説明し、併せて岩手河川国道事務所が情報発信している河川の防災情報について、盛岡市のタイムラインを踏まえながら紹介しました。

次に土砂災害について、昨年8月豪雨で土石流の被害を受けた広島市の土砂災害などを紹介し、土砂災害警戒情報の基準等を説明しました。また、昨年改正された「土砂災害防止法」について、土砂災害警戒区域や避難勧告の発令などに触れながら改正のポイントを説明しました。併せて現在岩手河川国道事務所が行っている岩手山の対策についても、砂防事業の説明を交えて紹介しました。

参加者からは、「盛岡市のタイムラインの試行について具体的に教えて欲しい」などの質問が出され、近年多発する土砂災害や長野県御嶽山での噴火報道もあって、洪水や土砂災害に対してとても関心が高い様子で、熱心に聴講していました。

今日の出前講座を通して、地域における自主防災活動の活発化と地域の防災力向上の一助となれば幸いです。



調査第一課 山影課長による講演



熱心に聞く消防団幹部の皆様